福岡和白病院循環器内科で冠動脈疾患に対して経皮的冠動脈形成術を受けられた患者様へ

当院循環器内科では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。
また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	リアルタイムIVUSガイドステント留置の有用性の検討
当院の研究責任者（所属）	森田祐介　（循環器内科）
本研究の目的	冠動脈入口部病変に対してリアルタイム血管内超音波（intravascular ultrasound：IVUS）ガイド下にステント留置を施行した患者を対象とし、ステント留置位置の精度およびその関連因子を評価するとともに、治療後1年間の臨床転帰を明らかにすることである。
調査データ該当期間	西暦2023年4月1日～西暦2026年8月31日
研究方法	●調査の対象となる患者様● 2023年4月1日～2025年8月31までに当院循環器内科で冠動脈分岐部病変に対するPCIを施行し、ステント留置時にリアルタイムIVUSガイドを用いられた患者様
	●使用するカルテ情報● 1. ①治療前の既往歴や病歴 2. ②治療の技術的成功 3. ③治療約1年時点における有害事象の発生 治療1年以内における治療に関連した治療合併症の発生等
	●試料や情報の管理● 情報は、研究機関である福岡和白病院でのみ管理され、集計、解析が行われた後、研究代表者が適切に保管・管理します。
個人情報の取り扱い	研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。 将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。
本研究の資金源・ 利益相反❁について ❁外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合せ先	福岡和白病院　循環器内科 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：森田祐介